

担い手要件である認定農業者、集落営農組織への取り組みの推進体制を、県と一緒に進めていっていききたい。また農地・水・環境保全対策については18年度田下地区をモデル事業として計画している。詳細が決まり次第、関係機関で組織する体制で推進していく。

(その他の質問事項)

環境緑化の基本的考え。
大村公園周辺の時期的有料駐車場等の件。
富の原沿岸周辺の環境整備の件。

自動体外式除細動器(AED)の設置進捗状況について
学童保育の施設の改善の実現と補助金の継続を

永尾議員

福祉保健行政について
突然の心停止に対して救急処置を行う自動体外式除細動器(AED)は、講習を受けたら誰でも使用することができる。ことに生命に関わる事であり、人が多く集まる場所等に設置できないか。3月定例議会一般質問の中AEDの具体的な配備等については、さらに積極的に検討し、できるだけ早い時期の設置できるように考えたいと答弁をいただいた。進捗状況についてお尋ねしたい。
子どもたちにいきいきとした



AED (自動体外式除細動器)

放課後を支援する環境づくりとして、学童保育の整備の拡充は急務であり、特に福重児童クラブ、いちご児童クラブ(松原)の施設の改善を早急に出来ないかとの9月定例議会一般質問で、学童保育の施設として決してふさわしいとは思っておりません、用地が確保できれば、実現の方向で進んでまいりたいと答弁をいただいた。進捗状況についてお尋ねしたい。県単独の手厚い運営費加算が縮減された中に置いて、今までどおり市単独補助金を継続していただきたい。

市長

AEDの意義については十分承知をしており、前向きに取

り組まなければならぬ課題だと考える。18年度、公的施設に数台設置し、消防署の協力を得ながら講習会を行うなど、市民への普及啓発に取り組みたい。また、このAEDを単に設置するだけでは不完全でありそれをいかに使えるかということが重要だと考える。そのためにも、講習会を十分に行いたい。

施設用地について、福重においては、学校用地利用という方向で現場と協議を重ねている。松原においては学校近隣の市有地について検討を行っている。施設整備について、用地の見通しが立った後に、施設計画の概要を決定し、事業の評価をして、国の補助事業計画策定に向け財政計画も含め進めていきたい。

運営費補助について、県単独事業の運営費加算案が本市の学童クラブへの助成拡大につながるのか定かでない状況である。国、県の施策がさらに充実するまでは、財政的に厳しい状況ではあるが市単独補助を継続していく必要があると考える。学童保育問題は少子化対策として重要な課題である。国の基準を決めていただき、今後の学童保育の安定化と継続化をしっかりと図っていききたい。

改革を計画だけに
終わらせないために

伊川議員 (1)総務行政について

第4次大村市行政改革実施計画の趣旨によると、市政の健全化、多様化する市民ニーズ、地方分権の進展等に対応していくため、現在の事務事業や組織、仕事の進め方などを不断に見直す必要性や、これまでの行政のあり方を抜本的に見直す状況にあることが述べられている。改革を計画だけに終わらせないため、職員の研修や教育はどのようにされているか。またそれを実践に結びつけるための取り組みに必要なことは何か。

(2)教育行政について

幼稚園教員補助員派遣事業について。今年度途中で事業が終了したが、特別な配慮を要する園児については継続した支援が必要と考える。その後の対策はどのようになっているか。

学校2学期制について

より理解を深めるため、保護者や地域に対して各学校はどのように取り組まれているか。

市長 (1)昨年3月に人材育成基本

方針を策定し、年度ごとに研修計画を立てて実施している。こ